

令和5年3月1日

充実した教育活動を最後まで

南九州市立浮辺小学校
校長 石川 雅実

3月に入りました。季節は確実に春に向かっていきます。子どもたちは卒業式、修了式といった大きな節目の行事を迎えます。本年度、自分の立てた目標達成に向け、有終の美を飾ってほしいと思います。そして、次なるステップに向けての確かな目標や計画、心構えを構築してほしいと思います。

教職員にとりましても3月は特別な月です。本校は本年度で閉校のため、私を含めて全職員が異動対象者となります。惜別や感謝の念、期待や不安といった様々な感情が渦巻いています。残された日々を大切に過ごしていきたいと思います。

学年末を子どもたち、教職員と共に充実した教育活動を最後まで展開していきたいと思っています。そして、浮辺小の歴史と伝統、校訓や校歌に込められた想い、地域の学校としての誇りを確実にこの地に刻んでいきたいと思っています。保護者や地域の方々、多くの卒業生、関係機関の皆様方の変わらぬ御支援、御協力を最後までよろしくお願いします。

令和5年3月6日

あの日から12年

南九州市立浮辺小学校
校長 石川 雅実

3月11日、東日本大震災のあの日から12年を迎えます。時の流れの早さに驚かされると共に、あの頃の記憶や気持ちが鈍化しているように感じます。震災の記憶を風化させないことが、何よりの教訓につながると思います。

学校でも毎年、各種災害の避難訓練を行っていますが、自ら考え、自ら身を守る行動が取れるように、防災に対する意識を常に持つことが大切です。

災害はいつ起こるか分かりません。防災マップ、避難経路、防災グッズ、連絡体制等の確認が必要です。また、お互いに声を掛け合って一緒に避難する御近所の方々、地域社会との深いつながりを日頃から構築しておくことも大切です。そうした絆は、避難行動だけではなく、ニュース等で最近よく見聞きする強盗や詐欺などの凶悪犯罪の抑止力にもなると思います。

復興に向けて、日々努力を継続されている方々の御苦勞を共に感じる気持ちを忘れずに、自分にできることを考え、実行していきたいと思います。

令和5年3月24日

感謝の日々

南九州市立浮辺小学校
校長 石川 雅実

南九州市立浮辺小学校に赴任して一年という短い期間でしたが、この度の県教職員定期人事異動により統合校である南九州市立霜出小学校長へ転任することとなりました。

私は浮辺小最後の校長という大役を担わせていただきました。去る2月19日に閉校式典を無事に終えることができたのは、ひとえに保護者、地域の方々、卒業生、市教育委員会、関係する全ての方々の温かい御支援と御協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

12名の子どもたちの明るく元気な姿や目映い笑顔に日々癒されました。また、本校職員にも様々な面で助けてもらいました。子どもたちや職員には、各人の学びの成果が花開き、実を結び、種となって、新しい環境下で再び新芽となることを期待しています。

私も浮辺の地で学んだ貴重な経験を今後の教育活動や人生に活かしていきたいと思えます。できることならさよならばかりの人生ではなく、一期一生のお付き合いをお願いできれば幸いです。